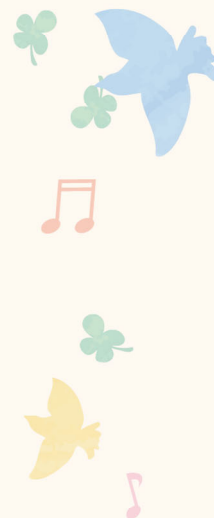


地域の人の愛情と整った学習環境が子どもたちの充実した学びの土台



全校児童約600人の東風小学校は、平成18年、隣接する前原小学校と波多江小学校から分離誕生しました。地域の人は積極的に学校と関わり子どもたちの成長を支えています。また学校は学習環境を整え、充実した学びの土台を築いています。

毎年秋に開催される「やさしさの花フェスタ」は、地域の人から学んだことや、感じたり考えたりしたことをステージで発表する東風小学校の文化祭です。令和元年度の4年生は行政区長と行ったごみ調べの授業を電子紙芝居にしました。子どもたちがストーリーを考えて描いた紙芝居。作中の「僕の大好きな糸島の海を汚さないで!」というセリフからは、糸島の自然を大切に思う子どもたちの優しさを感じます。普段から学校に積極的

に関わる区長たちは「子どもたちが、ただただ、かわいい」と愛情いっぱいです。地域の人からもらう温かい愛情と手厚い支援は、子どもたちの素直な優しさと郷土愛を育てています。

給食当番が準備している間に取り組む「ぐんぐん計算タイム」は「計算問題を繰り返し解いて、基礎をしっかりと身に付けてほしい」という先生の思いから始まりました。60～70人の子どもがランチルームに自由に集まり、算数の復習をします。解くプリントは自分で選んで自己採点し、質問には2人の教師がいつでも答えてくれます。苦手な単元に気付き、自ら進んで低学年の問題を解く子どもの姿も。子どもたちは主体的に楽しんで勉強していました。



「やさしさの花フェスタ」のステージで発表する4年生



「ぐんぐん計算タイム」で学習すること子どもたち